



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6544 URL https://www.jes24.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 石田 克史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員CFO (氏名) 今村 公彦 TEL 03-6262-1625  
 経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,967	5.8	1,617	33.6	1,703	41.3	1,105	51.8
2020年3月期第2四半期	10,370	26.5	1,210	56.7	1,205	61.3	728	61.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,097百万円 (53.4%) 2020年3月期第2四半期 715百万円 (67.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	26.57	25.19
2020年3月期第2四半期	18.06	16.85

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,489	8,919	57.5
2020年3月期	14,297	5,177	35.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 8,903百万円 2020年3月期 5,135百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	18.00	18.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	11.00	11.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 配当予想の修正については、本日（2020年11月12日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 当社は、2021年1月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を行います。2021年3月期（予想）の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2021年3月期（予想）の期末の配当金は22円00銭となります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	12.5	3,550	30.6	3,650	35.0	2,300	35.2	26.85

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 当社は、2021年1月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を行います。2021年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	44,057,600株	2020年3月期	40,538,600株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	115株	2020年3月期	86株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	41,625,058株	2020年3月期2Q	40,356,461株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
3. その他	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により停滞していた経済活動の再開に伴い足下の景気動向には持ち直しの動きが一部で見られるものの、依然として厳しい状況にあることから、企業の経費削減ニーズは今まで以上に高まると予想されております。

エレベーター等のメンテナンス業界においては、金融緩和政策による低金利等の下支えに伴う分譲マンション戸数の増加や、オフィスビル着工の堅調な推移により、市場は緩やかな拡大傾向にあります。

このような市場環境の下、当社グループは、独立系メンテナンス会社への契約切り替えによる企業のコスト削減ニーズの急増に応えるため、これまで以上に人員の拡充・営業体制の強化を進めております。加えて、大型法人契約の推進、関西・東海エリアでの新規拠点の開設による営業エリアの拡大、同業他社のM&Aによるシェアアップ等を行ってまいりました。また、11月2日にはJES Innovation Center(通称JIC)の隣地に高層のテストタワー、R&Dセンターなど開発関連部署を集約したJES Innovation Center Lab(通称JIL)が竣工いたしました。JILの竣工により、当社における研究開発体制の一層の強化を図ってまいります。

保守・保全業務については、保守契約台数が堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間の保守・保全業務の売上高は8,240百万円(前年同四半期比12.6%増)となりました。リニューアル業務については、緊急事態宣言に伴い工事日程の再調整及び完工引き渡し時期がスライドした影響等により、当第2四半期連結累計期間のリニューアル業務の売上高は2,344百万円(前年同四半期比13.5%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は10,967百万円(前年同四半期比5.8%増)、営業利益は1,617百万円(前年同四半期比33.6%増)、経常利益は1,703百万円(前年同四半期比41.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,105百万円(前年同四半期比51.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,192百万円増加し、15,489百万円となりました。これは主に、現金及び預金が274百万円、有形固定資産が621百万円、無形固定資産が396百万円増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末より2,550百万円減少し、6,570百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,607百万円、長期借入金が786百万円減少したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より3,742百万円増加し、8,919百万円となりました。これは主に、資本金が1,698百万円、資本剰余金が1,698百万円、利益剰余金が376百万円増加したこと等によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前第2四半期連結累計期間に比べ340百万円増加し、1,406百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は1,331百万円(前年同四半期は613百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,717百万円、減価償却費345百万円等の増加要因に対し、たな卸資産の増加額176百万円、法人税等の支払額576百万円等の減少要因によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は961百万円(前年同四半期は1,298百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出758百万円、無形固定資産の取得による支出210百万円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は106百万円(前年同四半期は713百万円の獲得)となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入3,374百万円の増加要因に対し、短期借入金の純減額1,817百万円、長期借入金の返済による支出909百万円、配当金の支払額729百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、2020年5月11日に公表いたしました通期業績予想を修正しております。詳しくは、本日別途公表いたしました「第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,145,583	1,420,086
受取手形及び売掛金	2,781,798	2,791,347
原材料及び貯蔵品	1,816,533	1,983,158
その他	615,352	412,195
貸倒引当金	△2,799	△3,953
流動資産合計	6,356,468	6,602,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,897,536	2,855,761
工具、器具及び備品(純額)	1,125,615	1,544,439
その他(純額)	1,649,345	1,893,605
有形固定資産合計	5,672,496	6,293,806
無形固定資産		
のれん	265,342	568,879
その他	779,257	872,375
無形固定資産合計	1,044,599	1,441,255
投資その他の資産		
その他	1,248,005	1,185,978
貸倒引当金	△24,346	△34,427
投資その他の資産合計	1,223,659	1,151,550
固定資産合計	7,940,755	8,886,612
資産合計	14,297,223	15,489,447
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	695,229	647,797
短期借入金	2,346,500	739,400
未払法人税等	601,168	563,410
賞与引当金	503,500	544,252
その他	2,205,910	2,049,093
流動負債合計	6,352,310	4,543,954
固定負債		
長期借入金	1,814,174	1,027,772
退職給付に係る負債	693,074	731,202
資産除去債務	250,950	253,470
その他	9,624	13,682
固定負債合計	2,767,823	2,026,127
負債合計	9,120,133	6,570,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	700,321	2,398,678
資本剰余金	1,136,623	2,834,980
利益剰余金	3,381,715	3,757,962
自己株式	△112	△209
株主資本合計	5,218,548	8,991,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	910	3,049
為替換算調整勘定	△54,537	△64,199
退職給付に係る調整累計額	△29,267	△26,979
その他の包括利益累計額合計	△82,894	△88,128
新株予約権	23,218	625
非支配株主持分	18,217	15,456
純資産合計	5,177,089	8,919,365
負債純資産合計	14,297,223	15,489,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	10,370,793	10,967,610
売上原価	6,609,040	6,687,113
売上総利益	3,761,752	4,280,496
販売費及び一般管理費	2,551,227	2,663,206
営業利益	1,210,525	1,617,290
営業外収益		
保険解約返戻金	2,670	94,729
その他	9,088	12,118
営業外収益合計	11,758	106,848
営業外費用		
支払利息	7,123	6,889
新株発行費	—	12,108
持分法による投資損失	5,406	—
その他	4,289	2,131
営業外費用合計	16,819	21,128
経常利益	1,205,464	1,703,009
特別利益		
固定資産売却益	70	19
段階取得に係る差益	—	14,972
特別利益合計	70	14,992
特別損失		
固定資産除却損	273	6
その他	129	722
特別損失合計	402	728
税金等調整前四半期純利益	1,205,132	1,717,274
法人税、住民税及び事業税	487,383	625,088
法人税等調整額	△2,621	△10,079
法人税等合計	484,762	615,009
四半期純利益	720,370	1,102,265
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,270	△3,675
親会社株主に帰属する四半期純利益	728,640	1,105,940

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	720,370	1,102,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	926	2,139
為替換算調整勘定	△7,637	△8,747
退職給付に係る調整額	2,406	2,288
持分法適用会社に対する持分相当額	△444	—
その他の包括利益合計	△4,748	△4,320
四半期包括利益	715,622	1,097,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	724,125	1,100,706
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,503	△2,761

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,205,132	1,717,274
減価償却費	295,823	345,640
のれん償却額	14,434	18,247
貸倒引当金の増減額(△は減少)	534	9,413
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,645	37,745
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	39,968	41,427
支払利息	7,123	6,889
持分法による投資損益(△は益)	5,406	—
保険解約返戻金	△2,670	△94,729
固定資産売却損益(△は益)	△70	△19
固定資産除却損	273	6
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△14,972
売上債権の増減額(△は増加)	△107,554	43,857
たな卸資産の増減額(△は増加)	△142,762	△176,466
未収入金の増減額(△は増加)	△106,226	194,434
仕入債務の増減額(△は減少)	13,357	△51,615
未払消費税等の増減額(△は減少)	△129,270	△95,531
その他	83,704	△68,343
小計	1,187,848	1,913,255
利息及び配当金の受取額	962	618
利息の支払額	△6,348	△5,585
法人税等の支払額	△568,864	△576,595
営業活動によるキャッシュ・フロー	613,598	1,331,693
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△4,200
有形固定資産の取得による支出	△930,014	△758,663
無形固定資産の取得による支出	△150,563	△210,874
保険積立金の積立による支出	△88	—
保険積立金の解約による収入	3,085	219,924
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△217,747	△201,778
その他	△2,766	△5,953
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,298,095	△961,544
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	578,000	△1,817,100
長期借入れによる収入	1,300,000	—
長期借入金の返済による支出	△619,414	△909,402
自己株式の取得による支出	—	△97
配当金の支払額	△523,779	△729,693
リース債務の返済による支出	△56,559	△23,925
新株予約権の行使による株式の発行による収入	35,643	3,374,121
その他	—	△515
財務活動によるキャッシュ・フロー	713,890	△106,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,034	△2,333
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20,359	261,202
現金及び現金同等物の期首残高	1,045,641	1,145,583
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,066,000	1,406,786

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,698,357千円増加しております。これにより、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,398,678千円、資本剰余金が2,834,980千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間において、セイコーエレベーター株式会社の株式を取得したため連結子会社としております。

また、当第2四半期連結会計期間において、株式会社NSエレベータの株式を取得したため、連結子会社としております。

3. その他

該当事項はありません。